

中山観光・季節のおはなし・旅便り



2月



新しい年を迎えて1ヶ月が過ぎました。

今年は2月2日が節分、3日に立春を迎えて春の始まりです。

梅の香りに心華やぐ季節…と言いたいのですがまだまだ寒い日が続きます。

うがい、手洗いなど風邪の予防対策をしっかり行って
寒いこの季節を元気に乗り越えていきたいですね。





暖かい節分に… 立春の後に 最強寒波

梅の花というと…春を告げる花

2月に入り、まだ厳しい寒さのなか早くも梅の木には蕾がついてふくらみ始めています。

ミモザや桜などの花たちが固い蕾の中で春の盛りをじっと待っているころ、

春の空気をいち早く感じ取り、先陣を切って春を告げてくれるのがこの梅の花です。

梅といえば庭先や公園、梅まつりなど、屋外で眺めることが多いですが、

寒い冬でも葉が枯れない縁起の良さから、ひな祭りの花飾りとして

桃の花と一緒に紅白梅を楽しむことも…(o^-^o)ニコ♥

ちなみに「紅」は魔除けや厄除け、「白」は高貴や清廉さの象徴とされており、

向かって左に白梅、右に紅梅、というのが伝統的な飾り方だそうです。

そんな梅ですが、ことわざや慣用句に多く用いられたり、

ユニークな逸話をもつ花でもあります。今回はそのなかでも有名な「飛梅伝説」をご紹介します。

花の気品高い美しさが由来。梅の花言葉

梅の花言葉は、どれも花の気品高い美しさから由来しているようです。

赤い梅の花言葉:「優美」「忠誠」白い梅の花言葉:「気品」ピンクの梅の花言葉:「清らかさ」

季節の行事にもなじみ深く、歴史上の偉人たちからも愛されてきた春の花、梅。

ふと見かけたときには、ぜひご紹介した逸話やさまざまな花言葉を思い出してみてくださいね。

関東三大梅林：関東地方にある主な3つの梅林を指す言葉。

埼玉県越生町「越生梅林」、神奈川県小田原市の「曾我梅林」、茨城県水戸市の「偕楽園」

2025年の河津桜まつりの開催期間は2月1日～28日

今年は2月2日(日)が節分で、2月3日(月)が二十四節気「立春」でした。

暦の上では「大寒」の時期が終わりますが、それに逆らうように強力な寒波が(‘;ω;`)ウカ

昨年12月から1月前半にかけては気温が平年よりも低めの日もありましたが、1月後半からは平年より高めの日が増え、

大寒の時期はいつもの年よりも寒さが和らいでいました。寒い寒いとはいいつつも、この時期としてはさほどでもなかったといえます。

4日(火)以降はこの冬一番の寒波になるおそれがあり、全国的に気温が下がる予想です。

とは言っても春はすぐそこまで来ています (m@>し<@)。♪

早い地域ではすでに梅や寒桜の開花もすすんでいます。寒さ対策をしっかりして春を見つけにお出かけしてみましょう

飛梅伝説

太宰府天満宮にまつられている学問の神様、菅原道真公。平安時代に貴族であった彼は、藤原氏の陰謀により無実の罪で太宰府に左遷されることになりました。

そしていざ太宰府に出発するとき、日頃から愛でていた庭の梅の木との別れを惜しみ、花に向けて歌を詠みます。

「東風吹けば 匀いおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ」

——春になったら香りを風に託して太宰府まで送り届けておくれ、梅の木よ。私がもう都にはいないからといって、春の到来を忘れてはならないよ——

寂しさや愛おしさを感じるこの歌を受け取ったのか？その梅の木は道真公を追うように一晩で京都から太宰府まで飛んでいったそうです。

この「飛梅」は、現在の太宰府天満宮にある樹齢1000年を超えたご神木の名前にもされています。

梅のまちと呼ばれる埼玉県越生町の梅は、南北朝時代に「太宰府天満宮」から「小杉天満宮」(現梅園神社)を分祀した時、菅原道真公にちなんで梅を植えたことがはじまり。2025年現在は、合計約2万本もの梅が栽培されており、

見頃の時期になるとまち全体が梅の甘い香りに包まれる。梅まつり(2月15日～3月16日)

神奈川県小田原市の「曾我梅林」は、関東を代表する梅の名所。富士山を望むロケーションが人気で江戸時代には、

小田原藩主・大久保氏が梅の栽培を奨励し、東海道小田原宿では旅人の必需品として梅が重宝された

2025年現在、梅の本数は約35,000本。白い花が可憐な「十郎梅」、「杉田梅」、「白加賀」をはじめ、豪華な枝垂れ梅など、種類が多いのも特徴。小田原梅まつり(2月1日～24日)

日本三名園のひとつにも数えられる偕楽園は1842年に、第9代水戸藩主・徳川斉昭公が自ら構想を練って建てた公園で、「民と偕に(ともに)楽しむ」という意図から名付けられた。斉昭公は藩民の健康にも関心を注ぎ、健康食品としてのウメの効用を認めて「種梅記」という書物にまとめています。水戸が日本を代表する梅の名所となったのもこれがきっかけで広い園内には約100品種・3000本もの梅の木が植えられてい。水戸の梅まつり(2月11日～3月20日)

冬の花「ロウバイ」を観に行こう

関東エリアでは、例年1月から3月にかけて、ロウバイが見頃を迎えます。

真冬に咲く花ですが、どことなく春の気配を感じさせてくれる黄色い花と甘い香りが魅力です。

漢字で「蝶梅」と書き、開花期も比較的近いことから梅の仲間と思われがちですが、

バラ科サクラ属の梅とはまったく異なる植物です。

名前の通り、蝶(ろう)細工のような質感の、黄色くかわいい小花を咲かせます。

ロウバイは強い香りを持つ花のひとつ。

満開の時期にはかなり離れた距離にいても、香りが漂ってきます。清潔感があり、

甘くフルーティーで、春の訪れを予感させてくれる明るい印象の香りです。

宝登山ロウバイ園

早春の陽光を浴び、透きとおるような淡い黄色の花を咲かせるロウバイ。

花の少ない時期に厳しい寒さに耐えながら、凛と咲く姿は美しいもの。

標高497mの宝登山頂一体の広大な園地に約800株(約3000本)の臘梅が咲き誇り、

英名「Winter Sweet」と呼ばれるほどの濃厚な甘い香りに包まれます。

関東地方でロウバイの名所といえば、長瀬宝登山臘梅園です。

そして宝登山臘梅園の第一の魅力は何といっても景色の良さでしょうか…

宝登山は標高約500m。宝登山臘梅園の眼下には秩父の街並み。

少し遠くに目を向けると、雄大な武甲山や両神山を望むことができます。

天気が良ければ、ロウバイの花と素晴らしい景色のコントラストを楽しむことができます。

また、宝登山臘梅園そのものの魅力としては、ロウバイの数の多さと花期の長さがあげられます。宝登山臘梅園は、宝登山頂の15000m²に展開し、

植えられているロウバイは3000本。それぞれに咲く時期が若干ずれるので、

より長い期間、ロウバイの花を楽しむことができるのです。

所在地 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1766-1



ロウバイの花の形が梅に似ていることから、「梅」の字が用いられた宝登山臘梅園には、和臘梅(ワロウバイ)、素心臘梅(ソシンロウバイ)、満月蝶梅(マンゲツロウバイ)と3種類のロウバイが植えられている

和臘梅の特徴

原種に近く他のロウバイと比較すると花は小さめ。

花芯は紅紫で、花弁は若干暗めの黄色。

ちょっと地味ですが可憐に咲く姿が魅力的。



素心臘梅の特徴

原種のロウバイの変種で、明治時代に

中国から入ってきた。

花の色は花芯も花弁も黄色で、ロウバイの中では早咲きの品種で香りを楽しむことができる。

素心臘梅は全体が黄色で和臘梅よりも華やかで、色自体は落ち着いた黄で穏やかな印象を受ける。



満月蝶梅の特徴(素心臘梅の変種)

特徴としては素心臘梅よりも花が大きく、黄色もより鮮やかで柔らかな印象を受け、ロウバイの中では最も人気のある品種。





新田の庄・寒山亭



郷土料理・おきりこみ



日光醤油のろばたづけ 鬼怒川店

日本人が忘れかけた懐かしい味、「日光ろばたづけ」

「ろばた」というのは「炉端」、囲炉裏の周りのこと。昔ながらに
囲炉裏を囲んで食べるごはん。

日光ろばたづけは丹誠込めて

漬け込んだまり漬けで

昭和 45 年「日光ろばたづけ」と名付けた



おすすめ!



日光の大自然に囲まれた環境の中で、

国内産米 100%・日本一美味しいと言われる日光名水

一子相伝匠の技で作り上げた、おかき・お煎餅を製造直売しています。

こめジャガ(無選別)ほんのりピリ辛塩味はヒルナンデス THE 夜会で紹介された

人気商品で生地にじゃがいもを混ぜて、さっくり軽~い食感に揚げました。

お米とじゃがいもがマッチして、他では味わえないおいしさ！お年寄りから

お子様まで食べやすい、新感覚のスナック煎餅

お得意様旅行招待会・鬼怒川温泉1泊の旅

2025年1月22日発・23日発・27日発・28日発・29日発

エージェント様からお仕事のご依頼がありました。

中山観光自動車をご利用頂き、ありがとうございました。

1日目：各地～栃木県にある佐野厄除け大師参拝…お昼はお隣群馬県へ

新田の寒山亭で昼食郷土料理おきりこみを頂きました

午後は日光おかき工房でショッピング～鬼怒川温泉ホテル三日月に早めのお宿入り

2日目：日光ろばたづけ…道の駅ロマンチック村…あしかがフラワーパーク～各地

皆様 2日間お疲れ様でした

和を感じることができる店内でなかなかいい雰囲気です。

なぜか店内に巨大な仏像のようなものがあります。

新田義重公ゆかりの勝ち飯「もっそ飯」と

上州ほうとう、煮ほうとうとも呼ばれる

野菜やきのこがたっぷり入った郷土料理「おきりこみ」を頂きました。

山梨のほうとうは、味噌ベースですが、

こちらは、基本醤油ベースで群馬県の味が堪能できます。



佐野厄除け大師

944 年創建の寺院で、正式名称は惣宗寺、

テレビコマーシャの影響もあり一般的には

佐野厄除大師と呼ばれ関東三大師の一つ

佐野の名物いもフライ&厄除け団子

いもフライは小さめのじゃが芋を 4 つ串に刺して
油で揚げてあります。ソースは足利市の月星ソース。

酸味があるフルーティな味が特徴

厄除け団子も柔らかくて食べ応えがあり美味しい



日光鬼怒川ホテル三日月は冬の夜を彩る「ウインターイルミネーション」
が素敵でした(12月10日～2025年2月2日まで)

従業員さんの接客、食事、温泉、噴水ショー、ウインターイルミネーション
など全てにおいて満足！

お客様も乗務員も

くつろげました





あしかがフラワーパークの冬牡丹が見頃です



ハートのフォトスポット

昼の園内でも映えるフォトスポットはバレンタインバージョン



園内に入ると正面にこの寄せ植えが！



春の花が咲くには未だ早い時季ですが、
「あしかがフラワーパーク」では
ガラスのフラワーハウスの中で、沢山の冬咲きボタンが、
綺麗に咲いていました。花が少ないこの季節でも
フラワーハウスの中では一足早く春を楽しめます。

あしかがフラワーパーク「光の花の庭」

500 万球が輝く光の花園へ、圧巻の光景が広がる夢のイルミネーション

「日本夜景遺産」関東三大イルミネーションに認定

開催 15 回目を迎える 2月16日まで楽しめます



